

校長室だより(No19)

R04/12/27

今年も気持ちよさそうに渡り鳥がプールで泳いでいる季節となりました。12月22日には虹がかかり、終業式の23日には雪が降りました。雪の降る中を登校してきた子どもたちは見慣れない雪を手に取り、雪合戦をしたり、ゆきだるまをつくったりする子どもたちの姿がありました。休み時間には少しでも残っている雪を一生けんめい集めようとする子もいました。自然が子どもの元気になる「第3の居場所」になることをあらためて感じさせられました。

また、22日には、本校体育館に講師先生をお迎えし、6年生が「望ましい生活習慣」について学びました。「しっかり睡眠」、「かしこく食事」、「たくみに運動」することが大切であること、「早起き・早寝」で生活を考えるとよいことなどを教えていただきました。子どもたちからも、「夜食はよいのか？」や「2度寝はよいのか？」等、進んで質問をする前向きな姿勢に講師先生もたいへん感心されていました。



さて、23日の2学期終業式には、今学期に取り組んだことや、この冬休みに取り組んでもらいたいことを次のように子どもたちにお話しました。

- 「最高のあいさつをめざす」
 - ・「すだちくんシール」を使ってみんなで取り組み、自分からあいさつをする人が増えてきたこと。
 - ・冬休みには、出かけたり、日ごろ会えない人に出会ったりするので、「してもされても気持ちのよいあいさつ」を続けていくようにしよう。
- 「自分の命は 自分で守る」
 - ・午前中授業だった個人懇談中も、事故にあったり、危険な遊びをしたり、不審者に出会ったりすることがなかったこと。(防災頭巾で避難訓練もしました・・・)
 - ・交通安全に心がけ、日が暮れないうちに帰ること、ルールを守って生活することを続けてほしい。(ウイルスを体に入れない生活の仕方、ウイルスが体に入っても負けない体づくり)
- 「自分でできる 自分で決める 自分で考える」
 - ・友達や先生と一緒に考え、取り組んだ運動会の演技も、高学年のお世話も素晴らしく、お家の人にも感動を与えたこと。
 - ・タブレット端末を使った学習にも慣れ、友達と協力しながら課題解決に向かう学習に進んで取り組み、成長が感じられたこと。
 - ・冬休み中も、健康に気をつけながらタブレット端末を活用し、自分の興味・関心を広げてほしい。
- 「人も笑顔、自分も笑顔」になることを続ける
 - ・人権週間では、各学年の素晴らしい発表があったこと、「友だちのいいね」を見つけて活動に取り組んだこと、友達が困っていたら見て見ぬふりをせず、友だちの「心の声」を聞き、自分にできることを行うこと等に取り組む、笑顔が増えたこと。
 - ・お家でもできる「おはよう」のあいさつや、「いただきます・ごちそうさま」等の「ありがとう」の気持ちを伝えることや、自分たちの生活を支えているお家の人のお手伝いもすぐにできる「笑顔をつくる活動」に取り組んでもらいたい。

保護者の皆様には多大なご理解とご協力をいただき、2022年も無事に終える事ができました。2023年1月10日には、子どもたちに元気で会えることを楽しみにしています。どうぞ、子どもたちとともに、よいお年をお迎えください。